

戦略の柱『子育て』にかかる キャッチフレーズについて



平成27年8月27日
第3回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会



キャッチフレーズ案 No.1

	キャッチフレーズ（案）	想い・意味など
1	子ども達の未来が輝くまち ～「子育て支援」から「子育ち支援」へ～	<p>子育て支援の目的は、子育て世代の負担軽減や親の自己実現の達成も大切だが、何よりも未来を担う子どもたち自身の健やかな成長こそが最大の目的であるべき。</p> <p>全国に先駆けて「子育て支援No. 1」を掲げた本市こそ、いち早く「子育て支援」から「子育ち支援」へ視点を移すべき。</p> <p>また、子どもの育ちに焦点をあてれば、学習環境の充実、安心安全なまちづくり、農産物の地産地消など、柱に枝付できる施策の幅も広がり、戦略の柱にふさわしいと考える。</p> <p>木津川市で育つ子供はこんなに幸せですよ！というところを打ち出す。</p>
2	きづがわいい	「かわいい」と「木津川良い」が合わさって、きづがわいい（Lovely&Good）という造語。 「かわいい」には、愛される、惹きつける、癒される、魅力あるという複合的な意味もあり、「広く・長く・愛される」まちとして伸びていく想いをこめた。
3	ええとこやん。木津川市（キッヅがわし）	田舎ではなく、都会でもない。子育てするには、ちょうどいいまちをPR。
4	親子でずっと住み続けたいまち 「木津川市」	
5	「結婚・出産・家族」 いつまでも住み続けたいまち・木津川市	子育て支援を充実するとともに、定住志向を高めることが必要。
6	子どもと親の絆を育むまち・木津川市	
7	子育て応援都市・木津川市	ズバリ、子育て支援No.1のまちとしてのブランドを高める。
8	子どもを大切にするまち・木津川市	
9	まち・ひと・しごと・こども	「まち・ひと・しごと」の全ては、子どもから始まる。子どもたちへの支援がまちの活性化に繋がる。
10	地方創生できづ(木津)く未来、 みんなで働き、子育てできる品格ある街へ	絆、気づく、木津川をかけ、さらに就業と子育て支援を充実させることで、まちのブランド力を高める。
11	みんなが見守る楽しい子育てNO. 1の 町・ キッズ in 木津川 CITY	母親だけが、または夫婦だけで育児をするんじゃなくて昔の良き時代のように、地域全体で子どもたちの成長を見守っていけるよう・・・ そんな温かい「町・ひと」であつたらいいなと思い、考えた。 子ども=キッズと木津川市をかけている。

キャッチフレーズ案 No.2

	キャッチフレーズ（案）	想い・意味など
12	笑顔あふれる子育てNo.1の木津川市	若い活気ある木津川市を目指して
13	木津川市からの直送 子育てNo.1 学力No.1！	
14	今でしき子育てを木津川市では！	
15	子どもは宝 まちの未来につなげる宝	将来を担う子どもは宝。社会のためにみんなで育てるという意識が大切。 親の負担が少しでも軽くなれば。
16	子は宝 まちで育てる木津川市	将来を担う大切な子どもはまち（社会）全体の宝であるという想いで、まちづくりに繋げていく。
17	元気な子どもの声が響くまち	昔は、まちに子どもの遊ぶ声が聞こえ、まちに活気が満ち溢れていた。しかし、近年そのような光景を見ることが少なくなった。この昔ながらの風景を取り戻すことが、まちの活性化に繋がる。
18	子どもの笑顔が耀くまち 木津川市	子どもの笑顔は、みんなの癒し。笑顔があふれる木津川市であってほしい。
19	子育てで絆を築こう木津川市	親だけではなく、地域ぐるみで子育てをして、木津川市全体の絆を深めようという意味を込めた。
20	Kidsな街 木津川市	木津川、キッズ（子ども）、絆をかけて。
21	大きな家族だ 木津川市	
22	かあさん、とうさん、笑顔のまち キッズ木津川	
23	かあさん笑顔、とうさん安心、 キッズ木津川	
24	みんなで子育て キッズ木津川市	

キャッチフレーズ案 No.3

	キャッチフレーズ（案）	想い・意味など
25	子育てと相性バッタリ！ 人と自然が夢を育むまち	温かなコミュニティと緑豊かなこの地域での子育ては、自然と心も豊かになる。 豊かな人づくり、緑を大切にした環境づくりを育み続けることで、生き生きとした笑顔がうまれる町になっていくイメージ。
26	人と緑とエネルギーを育むまち	安心して子育てができる基本は、将来にわたって環境汚染のない豊かな自然に恵まれた子育ての場を創ること。これには「再生可能エネルギーの地産地消」が不可欠。 これにいち早く取り組むことにより、特区の設置や補助金の交付、企業誘致に有利に働き、子育ての社会基盤である、農産業の振興、地域での雇用の創出に直結する。
27	「交流」が育む、次代を担うひとづくりのための木津川モデルの創出	若者の出会いから出産、子育てはもとより、子どもたちの教育、さらには自立まで、さまざまな人々が交流しながら次代を担うひとづくりを進める、木津川市ならではの魅力ある地域モデルの創出をめざす
28	子育てを みんなが楽しむ 木津川市	子育ては家族だけではなく、市民みんなが楽しむことができるまちであることを表したもの。
29	市民は家族 みんなで子育て 未来のために	市民を家族単位で考えて、家族である市民全員が仲良く楽しく子育てをできるまちであることを表したもの。
30	子どもの幸せ いつもどこでも願うまち	本市のいろんな施策には、常に子育てや未来を託す子どもたちが中心にあることを表したもの
31	子どもから玄孫まで 笑顔あふれる木津川市	幅広い世代の立場から「子ども」を見て、子どもから玄孫までとし、併せて、核家族化が進む近年に、子子孫孫まで未来永劫に元気で健やかな笑顔があふれることを表したもの。
32	子育て最先端都市宣言	学研の最先端技術を有する本市で、子育てを施策の中心で最先端のサービスを提供していくことを宣言した自治体であることを表したもの。
33	子どもの笑顔いっぱいのまちを目指して！	子どもたちの笑顔があふれることは、住みよいまち、住みたいまちに繋がる。
34	親子でキラキラ輝く木津川市	子育て支援は、子どもと保護者の双方にかかるもの。これを充実させることが必要。
35	いくまちプロジェクト	「いく」は育てるという意味。教育、食育などすべてにかかる戦略ということをPR。 「プロジェクト」は、「改革」「革命」などに置き換えることも可。
36	子宝を守るまち 木津川市	まちの宝である子どもを、まち全体で育てて行こう！子育てをみんなで応援しますよ！という気持ちを全面に出したもの。

キャッチフレーズ案 No.4

	キャッチフレーズ（案）	想い・意味など
37	おかえり！木津川市	まちの宝である子どもが、安心して家に帰ってくるように、また大人も、老若男女問わず、みんなの帰る場所やオアシスであり続けるまちを目指す。
38	みんなのオアシス 木津川市	大阪・京都市内から通勤圏内であり、みんなの帰る場所やふるさと、オアシスであり続けるまちを目指す。
39	こころを育む 木津川市	地域住民同士の交流や、子育て世代へのサポートなど、人と人がふれ合うあったかいまちをPR。